

# 広報 しおや広域

「輝く未来を守る！」



消防署での貴重な体験！



令和6年9月に、矢板市立矢板中学校の2年生10人が矢板消防署にて、キャリアスタートウィークとして3日間放水訓練や救急救助訓練などの職場体験をしました。

「普段の学校生活では味わえない貴重な体験ができた！」

職場体験の狙いでもある「生きる力」を確かに身につけることができたのではないのでしょうか。

未来の社会を担う若い力に今後も期待しています。

## 目次

新年のごあいさつ	2
議会だより	3
令和5年度決算報告	4
消防本部からのお知らせ	5
充電式電池処分に注意！	6

# 新年のごあいさつ



塩谷広域行政組合

管理者 加藤 公博 (高根沢町長)

塩谷広域行政組合 正副管理者

管理者 加藤 公博 (高根沢町長)

副管理者 森島 武芳 (矢板市長)

花塚 隆志 (さくら市長)

見形 和久 (塩谷町長)

## あけましておめでとうございます

塩谷広域圏内にお住まいの皆様におかれましては、健やかなる新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より塩谷広域行政組合の事務事業におきまして、皆様の温かいご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

塩谷広域行政組合は、塩谷地区の衛生事業と消防業務を担う特別地方公共団体です。

衛生事業の一つとして、エコパークしおや（ごみ処理場）では、環境に配慮した持続可能な社会の実現に向け、積極的な事業展開を行っており、昨年4月からは、新たにペットボトルの「ボトル to ボトル」方式によるリサイクルを開始しました。これは、使用されたペットボトルを原料として新たなペットボトルに再生する方法で、使用済みペットボトルを原料として衣類などの製品にする方式に比べCO<sub>2</sub>削減や資源の有効化が図られるものです。

消防行政においては、昨今の感染症流行を踏まえ、消防庁舎内の感染症蔓延防止対策として仮眠室の個室化工事を計画しております。消防職員が感染症の蔓延により消防・救急活動に支障を来さないよう、庁舎の改良工事を実施する予定です。

また、塩谷地区からの119番通報を受ける「栃木北東地区消防指令センター」が開設から10年を迎え、大規模な工事を行います。近年、携帯電話による119番通報が年々増加し、通信手段の多様化など必要性・有用性に鑑み、119番通報者のスマートフォンと消防指令センターとの間で映像の送受信を可能とするシステムを導入する計画となっております。

塩谷広域行政組合は、塩谷広域圏内の皆さまの安全・安心のため、日々まい進してまいります。住民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、塩谷広域圏内の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



# 議 会 だ よ り



(第155回定例会)

## 組合議員名簿

◎議長 佐貴 薫

○副議長 神林 秀治

(令和6年10月4日現在)

番号	氏名	選出市町
1	石塚 政行	矢板市
2	櫻井 恵二	矢板市
3	高瀬 由子	矢板市
4	伊藤 幹夫	矢板市
5	佐貴 薫	矢板市
6	笹沼 昭司	さくら市

番号	氏名	選出市町
7	福田 克之	さくら市
8	石岡 祐二	さくら市
9	鈴木 恒充	さくら市
10	小堀 勇人	さくら市
11	和氣 勝英	塩谷町
12	富田 達雄	塩谷町

番号	氏名	選出市町
13	直井美紀男	塩谷町
14	君嶋 恒夫	塩谷町
15	澤畑 宏之	高根沢町
16	加藤 章	高根沢町
17	神林 秀治	高根沢町
18	野中 昭一	高根沢町

## 第155回定例会審議結果

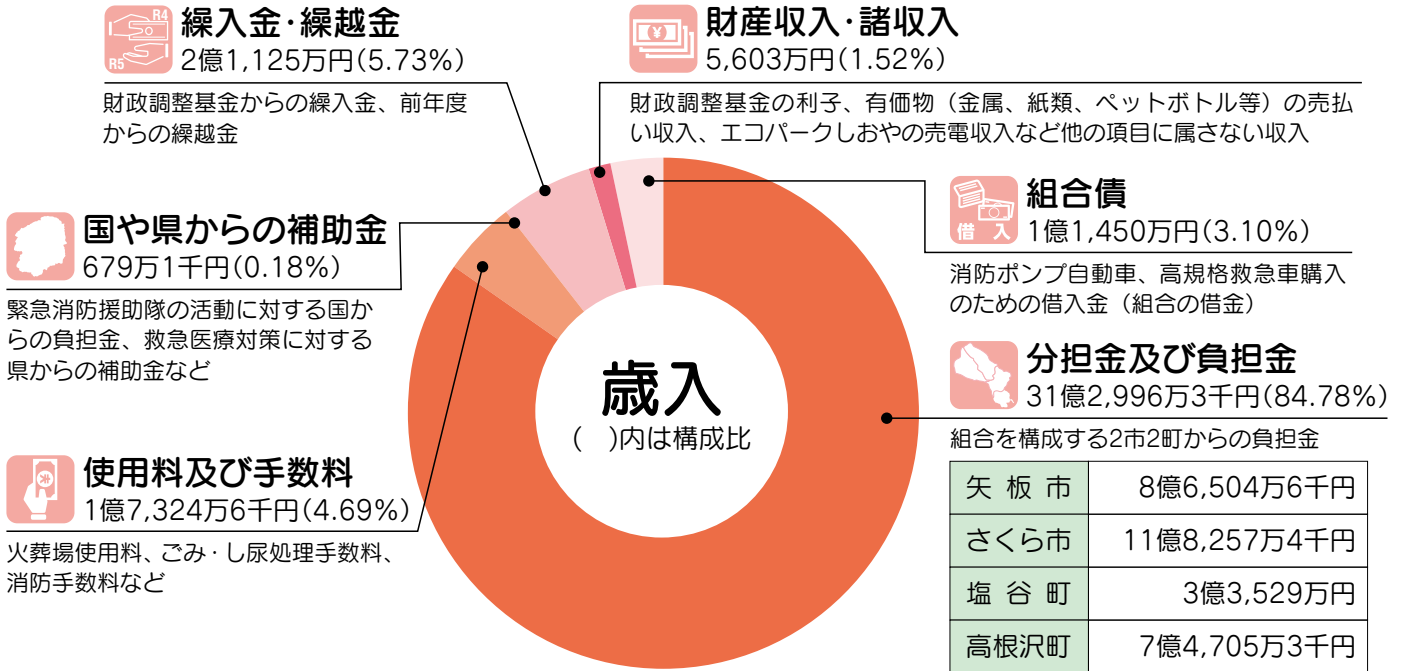
(令和6年10月4日開催)

番号	議案名	審議結果	内容
議案第1号	令和6年度塩谷広域行政組合一般会計補正予算(第2号)	原案可決	歳入歳出予算の総額に292万8千円を追加し、予算の総額を37億90万9千円としました。あわせて、債務負担行為の補正を行いました。 【歳入】 繰越金 292万8千円 【歳出】 総務費 33万3千円 衛生費 50万円 消防費 209万5千円
議案第2号	令和5年度塩谷広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入歳出差引額は7,932万2,368円で、実質収支額も同額となりました。詳細は次のページをご覧ください。
議案第3号	令和5年度塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	歳入歳出差引額は10万4,874円で、全額基金に繰り入れました。詳細は、次のページをご覧ください。
議案第4号	塩谷広域行政組合職員定数条例の一部改正について	原案可決	地方公務員の定年年齢の引上げ、育児休業等取得の促進、増加する救急需要及び頻発する大規模自然災害等の消防行政上抱える課題に対応する適正な職員定数とするため、条例の一部を改正しました。
選挙第1号	副議長選挙について	選挙	副議長に高根沢町議会選出の神林秀治議員を選出しました。
選挙第2号	議長選挙について	選挙	議長に矢板市議会選出の佐貴薫議員を選出しました。

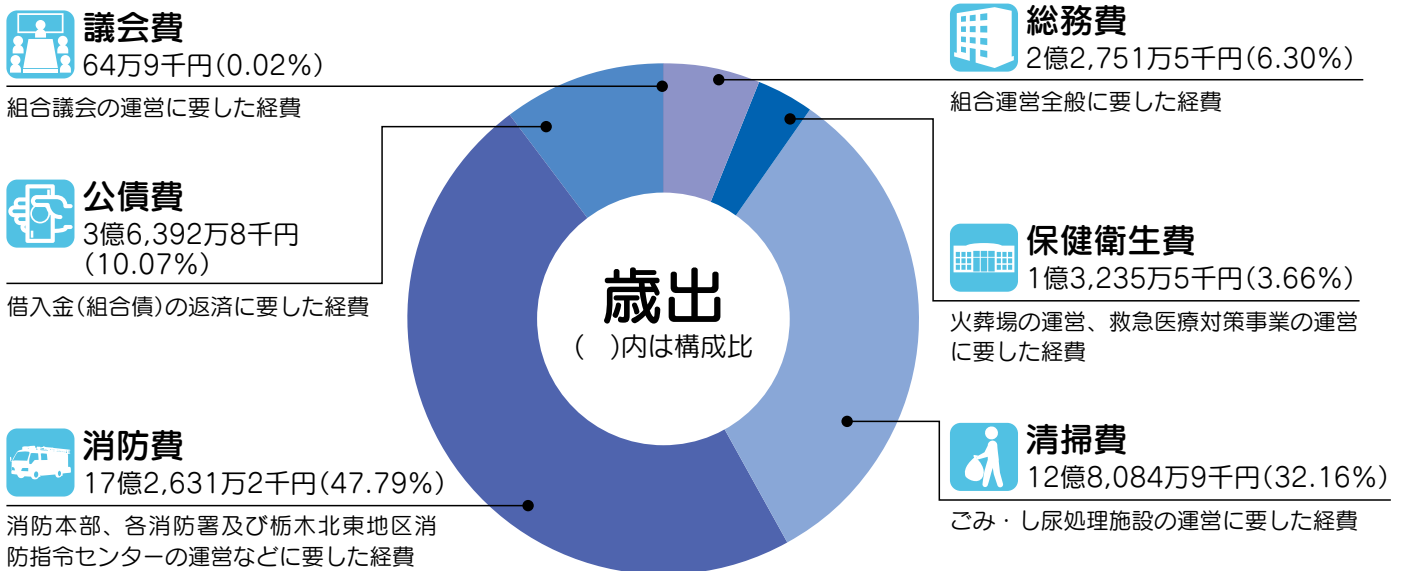
# 令和5年度 決算報告

令和6年10月議会定例会において、令和5年度の塩谷広域行政組合一般会計及び塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計の決算が認定されましたので、その状況をお知らせします。

## 一般会計 【歳入】 36億8,100万5千円(前年度比3.02%増)



## 【歳出】 36億1,245万8千円(前年度比4.65%増)



## 塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実施した主な地域振興事業
350万8千円	340万3千円	10万5千円	塩谷地区文化団体等支援事業 ・塩谷地区スポーツ協会 ・塩谷地区芸術祭 ・塩谷地区ニュースポーツ交流会

## 火災への備え ～電気火災を防ぐために～

平成17年以降減少傾向であった住宅火災が、令和3年以降再び増加傾向にあります。特に『電気機器』を原因とした火災が増えており、平成28年の871件に対し、令和5年は1,688件と、約2倍にもなっています。その背景として、リチウムイオン電池を使用する製品の普及も増加の要因の一つと考えられます。

『電気機器』を正しく扱い、電気による火災を未然に防ぎましょう。



参考：消防統計（総務省消防庁）

### 【全国の住宅火災原因】

第1位…こんろ 第2位…たばこ 第3位…電気機器

### リチウムイオン電池の火災を防ぐポイント

- ①PSEマークの記載を確認する
- ②メーカー指定のものを使用する
- ③膨張、異音等の異常がないか確認する
- ④異常が生じたものは、直ちに使用をやめる
- ⑤自身での改造や分解等はしない



PSEマーク

近年は非純正（互換性を持つもの）のバッテリーが増えています。非純正品のもの使用は火災の原因の一つでもあるため、ご使用には十分注意しましょう。

また、処分時の火災も増えていますので、処分方法について次のページをご確認ください。

## ☆住宅防火 いのちを守る10のポイント

### 4つの習慣チェック

- ①寝たばこはしていない
- ②ストーブの周りに燃えやすい物は置いていない
- ③こんろ使用時に離れていない
- ④コンセントの埃は除去し、不要なプラグは抜いている

### 6つの対策チェック

- ①安全装置の付いた火気・電気製品を使用している
- ②住宅用火災警報器が設置されている（□電池の確認）
- ③寝具、衣類、カーテンに防炎品を使用している
- ④消火器等を設置し、使い方もわかる
- ⑤避難経路と避難方法を常に確保している
- ⑥地域の防火防災訓練に参加している



10年経ったら交換しましょう  
住宅用火災警報器の  
維持管理  
(令和6年6月1日調査結果)

塩谷広域管内における設置率は、「80%」でした。機器が古くなると、正常に作動しない場合があるので、定期的に作動確認をして、10年を目安に新しいものに交換しましょう。



## 地震への備え ～令和6年能登半島地震から1年～

「大きな地震が発生し、大津波警報が発表されました。今すぐ高台に逃げてください!」

昨年の元旦、穏やかな新年を過ごす中、マグニチュード7.6、最大震度7の大地震が能登地方を襲い、家屋倒壊や津波により一帯に甚大な被害をもたらしました。

災害発生時には、一人ひとりが災害に対して正しい知識を持ち、落ち着いて行動することが大切です。いつ発生するかわからない地震に対して日ごろから備えることで、被害を抑え、安全な避難にも繋がります。

この機会に、チェックリストを活用し地震に備えましょう。



### ☆チェックリスト 地震に備えよう!

- ①防災セットを準備している
- ②家具等の転倒防止対策をしている
- ③家屋や塀の補強をしている
- ④避難時に家族が持ち出す物等の役割分担が決まっている
- ⑤避難時に家族で集合する場所を決めている
- ⑥地域の防災訓練に参加している



### 【緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練参加】

昨年11月、静岡県にて開催された緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に当消防本部の救助隊、後方支援隊の2隊8名が緊急消防援助隊栃木県大隊として参加しました。

土砂災害を想定した実践さながらの訓練会場において、県内外の消防機関のほか、警察、自衛隊とも協力し、有事の際の対応についての連携強化を図りました。



「緊急消防援助隊」とは大規模な災害が発生したときに、都道府県単位で編成し、県外に応援出動する部隊をいいます。塩谷広域では、救助隊、後方支援隊のほか、消防隊、救急隊も登録しています。



# 充電式電池処分に注意！

全国的に、リチウムイオン電池等の充電式電池が原因の火災が廃棄物処理施設等(廃棄物処理施設・ごみ収集車)で発生しています。エコパークしおやでも、充電式電池に起因する発火を確認しています。



やいちゃん

## そもそも、充電式電池って何…？

小型かつ軽量であり、耐用年数(寿命)が長いといった強みがあるため、スマートフォンや掃除機、ゲーム機など身近な電化製品に使用されているよ。

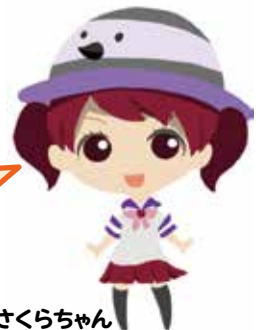
その一方で、熱や衝撃に弱いこともあって、充電式電池が原因の火災が増えているみたいなんだ。



## 実際に起きた発火の様子が…!

エコパークしおやでは、不燃ごみを破砕機にかけて細かくする作業を行っているんだけど、充電式電池が入っていると破砕の衝撃で発火の原因に…。

写真は実際に起きた発火の様子だよ。このときは、すぐに消火できたから良かったけれど消火できてなかったら大事故に繋がっちゃうから気を付けないと!



さくらちゃん

## 燃えてしまった電化製品…。

エコパークしおやで、実際に燃えてしまった充電式電池が使われた電化製品だよ。

写真で見るだけでも危険なことが分かるよね…。

危険を少しでも減らすために、ごみ処理施設に持ち込む前にきちんと分別することが重要だね!



しおちゃん

## 捨てる前にこのマークを探してみよう!

これが充電式電池のリサイクルマークになります。

電化製品を捨てる前にこのマークがないか探してみてくださいね。

このマークがあるものは各市町の分別ルールを参考に分別にご協力をお願いします。

### リサイクルマーク



Ni-Cd

ニカド電池



Ni-MH

ニッケル水素電池



Li-ion

リチウムイオン電池

【出典】(公財)日本容器包装リサイクル協会



たかちゃん

### 【このページに関する問い合わせ】

エコパークしおや管理事務所 矢板市安沢 3640 番地

☎0287-53-7370

